

研究テーマ：平和教育における“主体的・対話的で深い学び”の追究

【4月認定研究会】



昨年度、3月の振り返りをもとに、今年度の計画を立てました。5月にはフィールドワーク、6月、10月、2月には共同研究者の末吉先生の講演を計画しました。また、2学期後半には各学校の平和のとりくみの交流を計画しました。小学校と中学校のとりくみを交流し、9年間を見すえた平和教育を展開していけたらと思います。

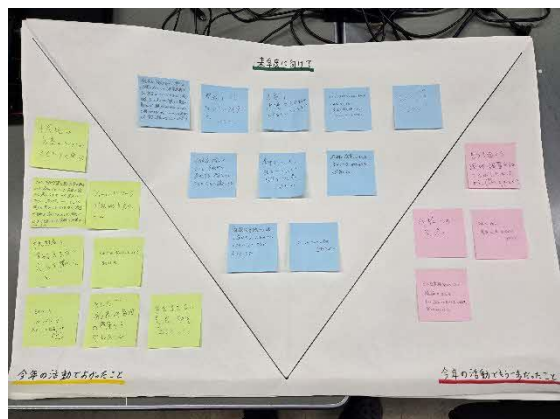
【5月認定研究会】



映像鑑賞「神崎川」では、人権平和センターの竹林さん、東さんなどから現在の豊中市の地図と80年前の豊中市の地図を照らし合わせながら、なぜ豊中空襲が起きたのかを考察した。また、当時、勤労働員されていた女性の証言をもとに戦争

について考えた。庄内地域にあった旧セキサン精工などでは海軍の局地戦闘機紫電改（川西航空機の水上戦闘機強風を戦闘機に改造した紫電をさらに改良したもの）が生産されていた。女学生の証言によるとパイロットの顔が見えるほどに低空からの機銃掃射を受けたとのことだった。しかし、その後の討議では、この空襲がそもそもなぜ起きたかということが大事で、かつて日本が帝国主義の下に突き進んだ歴史について言及されることがあった。豊中市空襲探訪MAPや豊中の空襲は各学校にあるので積極的に活用して欲しい。

研究会の達成目標：とよなか平和デジタルマップを活用した授業づくり



【昨年度末に作成した一年間の活動のふりかえり】

今後の活動

【6月の認定研究会】

1 講演

『戦争体験絵本化プロジェクトの実践と評価
ー平和教育における学びの可視化ー』
末吉洋文さん（帝塚山大学）

2 講演を聞いて学校現場でどう活用するかを考える （グループワーク）